



パドックと返し馬を兼ねた
ロイヤルターフクラブの本馬場入場



ハリウッドパークの芝レース



ハロルドパークの距離ハンデレース、 スタート前の様子

世界旅打ち気分

●第19回・廃止場

須田鷹雄

写真のカラー版は
<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>の
#グリーンファーム会報#2019年11月号
でご覧いただけます

<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten>

ジヤックなどはできるが、スロットマシンは設置しようがない。人件費のかかるテーブルゲームばかりで、カジノは黒字であつても収益は伸びなかつた。

ふたつめの理由は、競馬場の存在がカジノ設置の前提条件になつていなかつたことである。フロリダ州などではパリミコナル式の競技が本籍地として存在しないと方ジンを設置できないことがあり、短期間のハイアライ（賭けを伴う球技）や2頭立て競馬などを行つてゐる。ハリウッドパークについてはそのような前提条件がなかつたため、「もう競馬場潰して再開発し、カジノだけ残したほうがいいよね」ということになつてしまつたわけだ。

もともとカジノは競馬場のスタンドのうち、本場入場者が減つて過大になつた部分を利用していたのだが、再開発が進むにつれて旧スタンドを残しても無駄と云つことになり、センチュリー大通り沿いに新たなカジノの建物が作られた。そのためいまでは競馬場の痕跡はほとんど無くなつてしまつてゐる。

別な機会に記すが、カリフォルニアはフエア競馬という共進会競馬を行つ競馬場も減つてしまつたし、

馬全体が永続性のあるものと断言できなくなりつつある。なんとか持ちこたえていつてほしいものである。

最後に「」紹介するのが、ロイヤルターフクラップ。バンコクにあった競馬場だ。

この連載の初期にロイヤルバンコクスポーツクラブという競馬場を「」紹介したが、そちらはいまも健在。「こちらのロイヤルターフクラブは、1週ごとに日曜開催を行っていたのだが、廃止された」と。バンコクでは2週に1回しか競馬が行われないことになってしまった。

実は筆者は、「このロイヤルバングラクターフクラブに一度しか行ったことがない。なぜかバンコクに行くたび2分の1でロイヤルバングラクスポーツクラブのほうをツモつてしまい、なかなか行く機会がなかつたのだ。意を決して2015年11月に訪問したのだが、いまにして思えば行つておいてよかつた。

競馬場としてはいかにもタイの競馬場らしく、スタンドは「」ンクリむき出しで寒々しささえある作り、場内は超満員（ネット投票どころか場外馬券もない）ので、そしてメシ屋がたくさんでいて全部

旨い」といたどりが特徴だ。たゞ、「この都心にありながら、調教師一家が子供まで全員乗つたトラック式の馬運車が出入りした。口一カルな雰囲気満載。きれいなスタンドじゃないと嫌という人には到底すすめられない競馬場だったが、雖然とした中で口一カルカードを食べつつ馬券を楽しむのは、なんとも活気があつて面白い体験であつた。

競馬場としてはいかにもタイの競馬場らしく、スタイルは「ンクリむき出しで寒々しささえある作り、場内は超満員（ネット投票どころか場外馬券もない）ので、そしてメシ屋がたくさんでていて全部

ても都心から遠く離れた場所で
場外馬券もネット発売も無しで
は苦戦が見えている。ただそれで
も、旅打ちマニアとしてはなんとか
新競馬場ができるほしいといふで
はある。

「この連載は世界旅打ち気分」というタイトルでお送りしているが、今回はその行き先を追体験しようと思つてもできない、既に廃止になつてしまつた競馬場を「紹介しよう」と思つ。まず最初に「紹介するのは、ハロルドパーク。ハーネス(繫駕競走)競馬場で、シドニー郊外にあつた。手元の記録を見ると、私が訪問したのは2009年10月だつたようだ。

競馬場があつた場所は、シドニーのセントラル駅から西に車で10分ほどのところ。好立地であつたがゆえに、馬券の売り上げが落ちて経営が悪化したときに「閉鎖してこの土地を売つたほうがよろしい」、という議論になつてしまつたのだろう。

競馬場としてはばく標準的な、こじんまりとしたコースとスタンドを備えた競馬場。ただその歴史は古く、創設されたのは1890年といふから日本では明治時代。まだ日本人による馬券を伴つた競馬開催は行われておらず、上野不忍池競馬が行われていたのだ。

100年を優に超える歴史の競馬場が閉鎖されると決まつたのが、2008年10月26日。なので私

か旅打ちの計画を練っていたときには、既に競馬場のホームページに閉鎖予定のお知らせが掲載されていた。正確な表現は覚えていないが、「この土地を売って別な競馬場に投資する」とが、ハーネスレースの歴史を守つていこううえでは有効と考える」というようなことが書かれていたと記憶している。

「」のハロルドパークで行われていた最大の呼び物レースは「ミラクルマイル」だったが、廃止が決まった翌年の09年からはミナングル競馬場に移された。「」のミナングル競馬場はシドニーから60～70キロのところにあって気軽に市民が行けるわけではないが、こちらに集中投資してTABやネットの売り上げでハーネスレースを維持しようというのがNSW州ハーネス業界の方針になったわけである。

ハロルドパークで最後の開催が行われたのは2010年12月17日。跡地は集合住宅になつていて競馬場の面影はないが、競馬場の公式サイトは最終日のまま残されており、当時をしのぶことができるのでぜひ検索してみてほしい。

2つめは、ハリウッドパーク競馬場。ロサンゼルス国際空港に近く、かつては第1回を含むブリーダー

スカップも行なれた大競馬場だ。ハリウッド・ゴールド・カップなどの大レースも行なっていたし、日本馬の遠征もあったので、我が国の競馬ファンにもよく知られていた競馬場である。

ところが20世紀終わりころから経営不振に陥り、05年には競馬場閉鎖と再開発を意図する企業に買収された。そこから8年ほど持ちこたえたものの、最終的に2013年12月22日をもって廃止ということになってしまった。

このハリウッドパーク競馬場は早い時期(1994年)からカジノとの複合化を行った施設でもある。後にアメリカの競馬場は併設したカジノの収益から競馬側が救われるケースも増えるのだが、ハリウッドパークについてはそうはならなかった。理由はふたつ。カリフォルニア州はインディアン居留区を除いて「客とカジノ」の対決によるゲーミングを認めておらず、カードゲームもディーラー・客・胴受け会社が派遣したアルバイトという特殊な構図で行っている(客側も胴受けできる。ただし胴のときも子の時も、ネバダ州などにはないカジノ側への手数料を払うことになる)。これだとからうじてブラック